

東久留米市指定文化財あんない

	名 称					年 代			所 在 地		
無形民俗文化財	南柳下小神	沢	獅	子	舞	江	戸	時	代	南沢三丁目5番	氷川神社
有形民俗文化財	馬庚石庚庚庚庚庚庚常庚馬地地地地廻不殼石石庚弃地石	頭	觀	世	音	搭	搭	搭	代末	柳窪四丁目5番	天神社
	123456789101112131415161718191920212223242526	申供申申申申申申夜申	申供申申申申申申	申供申申申申申申	申供申申申申申申	申供申申申申申申	申供申申申申申申	申供申申申申申申	申供申申申申申申	申供申申申申申申	申供申申申申申申
有形文化財	新板多聞阿彌陀如來立地下里本邑多聞士講明治正十加承	山繪三十月聞寺待	遺跡天三代住職逆修像畫出土品一品文絵板	出十五代仕職逆修像畫出土品一品文絵板	土品童山板	括一子碑碑板	岡門碑碑板	門碑碑板	時代期代代期	下里三丁目1番	展示室他
史跡	414243	柳神鈴	窪谷木	梅家家	林家家	の墓	碑	所	安政4年(1857)時	柳窪四丁目1番	天神社内
旧跡	4445	成共	蹊立	学学	校校	跡跡	明治17年	明治18年	大門町一丁目3番	八幡町二丁目10番	市清掃事務所
天然記念物	46	淨牧院	の力	ヤ	樹齡	400年(推定)			大門町一丁目3番		淨牧院内

東京都指定文化財あんない

	名 称			年 代				所 在 地					
史 跡	47	新	山	遺	繩	文	時	中	下里	三	2	番	
	48	下	里	本	舊	石	器	平	野	火	丁	3	番
	49	米	津	家	江	器	戶	安	幸	止	目	2	番

『郷土資料室』 ご案内

所在地……東京都東久留米市幸町 3-11-10
(市役所第 1・3 分庁舎)

電 話.....0 4 2 4 (7 2) 0 0 5 1

交 通……西武バス 幸町三丁目停留所よ

【編集・発行】

東久留米市教育委員会社会教育課
〒203-8555 東京都東久留米市本町 3-3-1
電話 0424(70)7777
内線 3213~4

くるめの文化財

平成10年3月
第14号
東久留米市教育委員会

特集 ふるさとを歩こう

東久留米市には、私達の身近な歴史や生活を物語る文化財が数多く残されています。市では、これらの文化財を保護し後世に伝えていくため、特に重要なものについては所有者の協力をえながら、市文化財保護審議会の答申のもとに市の文化財に指定しています。ここで、いくつかの散策コースを紹介しますのでそれぞれの季節に、皆さんで歩いて東久留米の文化財を堪能下さい。

散策コース

黒目川コース

天神社（柳窪梅林の碑）→ 柳窪の屋敷林 → 新山遺跡（東京都指定・下里中学校北側 積穴
主居跡）→ 下里本邑遺跡 → 郷土資料室 → 大円寺 → 小山台遺跡公園 → 净牧院

落合川ヨース

弁財天碑 → 石橋廻国供養塔 → 南沢氷川神社 → 共立学校跡 → 多聞寺山門 → 竹林公園
(新東京百景) → 不動明王 → 長寿池

郡十資料室コース

郷土資料室 ➡ 米津寺（米津家墓所・東京都指定）➡ 延命寺跡（楊柳沢御殿跡）

駅周辺コース

大円寺 → 子の神社 → 小山台遺跡公園 → 氷川台緑地保全地域 → 金山森の広場 → 済牧院
柳窪コース
さいかち窪（小平霊園内） → 天神社（柳窪梅林の碑） → 柳窪屋敷林 → 庚申塔・石橋
井養塔 → 地蔵菩薩

大名・旗本コース

→ 南沢氷川神社（久世大和守、蜂屋半之丞、神谷与七郎の所縁の地）
→ 米津寺（米津家墓所・東京都指定）

文化財を大切にしましょう。また、文化財には寺社や個人の方の所有となっているものもあり、見学に際してはご迷惑にならないよう十分注意しましょう。

文化財を歩こう

41 柳窪梅林の碑 (市指定史跡)

柳窪4丁目15 (天神社境内)

天神社前の梅林の植樹について記された石碑。碑文中には、古祠の傍にあった「天神松」という老木の朽ちるのを惜しみ、そこに梅の植樹をした旨が記されています。

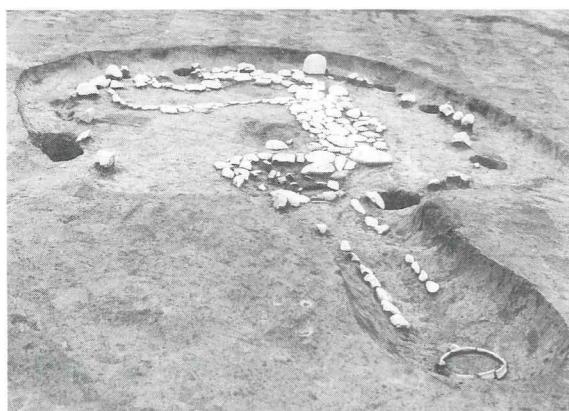
同碑文は、六所宮神主（現大国魂神社宮司）猿渡盛章によるもので、安政4年（1857）の年号が記されています。また、梅林の移植と「くるめ」とを巧みに組み合わせて“くるめ”が「来梅ノ莊の里」、黒目川は「来梅川」と記されています。



47 新山遺跡 (東京都指定史跡)

下里3丁目11・21 (下里小・中学校部分)

縄文時代中期（約5000年前）の大規模な集落跡で、当時のムラの様子がよくわかる貴重な遺跡として知られています。下里中学校の校庭下には柄鏡形住居跡がそのまま埋没保存され約3300m²が都の史跡に指定されています。その内1軒の柄鏡形住居跡は、外からも見学できるようになっています。さらに下里小学校内には出土品を展示した「新山遺跡資料展示室」があります。



17 地蔵菩薩(市指定有形民俗文化財)

神宝町2丁目13 (宝泉寺境内)

三人の童子がすがりついている地蔵菩薩の石像。旧神山村の念仏講中が嘉永2年（1849）に造立。

台座にはこの地蔵像を造立するために寄附した神山村をはじめ、近隣の村々を含む多くの人々の名前がみられます。



22 石橋供養塔・力石

(市指定有形民俗文化財)

小山4丁目1 (小山生活改善センター前)

黒目川に架けた曲橋

・中橋・落馬橋の三つの橋の築造供養塔。

その前に並べられた3個の石は、かつて小山村の若者たちの力競べに使われたもの。一番大きい石には四拾五貫（約170kg）と記されています。



※地図上の番号は指定文化財
あんないを参照下さい。



13 馬頭観世音塔 (市指定有形民俗文化財)

小山2丁目10 (大円寺門前)

江戸時代の天保9年（1838）に旧下里村の所沢街道ぞいに建てられていたもので、石塔の左側には次の文字が刻まれています。

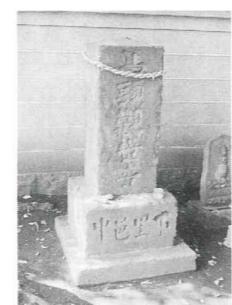
東 いたはし 五里

西 八わうし 五里

南 江戸四つ谷 五里

北 川ご絵 五里

いずれれへも五里であることから「ゴリゴリ馬頭」と呼ばれ親しまれていたといわれています。



46 净牧院のカヤ (市指定天然記念物)

大門町1丁目3

(净牧院境内)

净牧院境内本堂前の参道敷石を挟んで西側に聳え立つ榧の樹は、目通り幹周3.5m、樹高18mを計測します。樹齢推定400年。



7 庚申塔	8 庚申塔	20 舶櫃	大円寺
26 石橋供養塔			
42 神谷家墓所	43 鈴木家墓所		浄牧院
46 浄牧院のカヤ			
29 多聞寺山門	45 共立学校跡		多聞寺
35 多聞寺前遺跡出土品一括			
38 天正十一年板碑			郷土資料室

49 米津家墓所 (東京都指定史跡)

幸町4丁目2 (米津寺墓地内)

米津家は三河武士で、徳川家とともに関東に入国し、天正19年（1591）に武藏国前沢に知行地を得ました（屋敷は旧延命寺付近といわれています）。初代の米津田政は江戸町奉行の要職にありました。米津寺は米津家の菩提寺として創建されたもので、二代米津田盛をはじめ、四代の藩主と一族の墓碑があります。米津田盛の代に大名となり、以後久喜藩主（埼玉県）・長瀬藩主（山形県）となりました。

